MANUFACTURE OF IN-MOLD DECORATED MOLDED PIECE AND METAL MOLD **USED THEREFOR**

Publication number: JP1263013 **Publication date:** 1989-10-19

Inventor:

YOSHIMURA ISAO

Applicant:

DAINIPPON PRINTING CO LTD

Classification:

- international:

B29B11/06; B29C33/18; B29C33/38; B29C45/14; B29C45/16; B29C45/26; B29C51/10; B29C63/02; B29B11/00; B29C33/14; B29C33/38; B29C45/14; B29C45/16; B29C45/26; B29C51/10; B29C63/02; (IPC1-7): B29B11/06; B29C33/18; B29C33/38; B29C45/16; B29C45/26; B29C51/10; B29C63/02

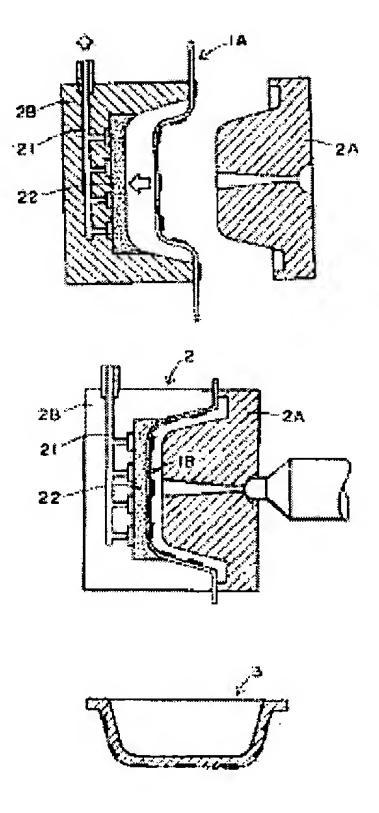
- European:

B29C45/14D; B29C45/14T Application number: JP19880093887 19880415 Priority number(s): JP19880093887 19880415

Report a data error here

Abstract of **JP1263013**

PURPOSE:To obtain an in-mold decorated molded piece in which air pores for preliminarily molding a laminated decoration sheet are not presented even if a desired design is imparted by discharging sucked air through the porous cavity wall of the female mold of injection metal molds when the sheet is disposed in the female mold of injection metal molds and preliminarily molded by vacuum molding. CONSTITUTION:At least part of cavity wall of female mold 2B of injection metal molds 2 having a male mold 2A and the mold 2B is composed of a porous electroformed piece 22. The back of the cavity wall of the piece 22 is connected to a vacuum source through a discharge hole 21. A laminated decoration sheet 1A having an arbitrary picture pattern is vacuum molded by utilizing the mold 2B to be preliminarily molded to obtain a preliminary molded piece 1B of the sheet. The piece 1B is placed in the molds 2A and 2B, the molds are clamped to injection mold synthetic resin of the piece 1B, a base ' material film is removed as required, and a molded piece 3 integral with the picture pattern is obtained.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

http://v3.espacenet.com/textdoc?DB=EPODOC&IDX=JP1263013&F=0

(B) 日本国特許庁(JP)

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-263013

⑤Int.Cl. 4	識別記号	庁内整理番号	43公開	平成 1 年(1989)10月19日
B 29 C 45/16 B 29 B 11/06 B 29 C 33/18 33/38 45/26 51/10 63/02		7258-4F 7729-4F 8415-4F 8415-4F 6949-4F 6660-4F 7729-4F審査請求	未請求	請求項の数 4 (全4頁)

図発明の名称 絵付け成形品の製造方法および製造に使用する金型

②特 願 昭63-93887

②出 願 昭63(1988) 4月15日

⑩発明者 吉村 功東京都豊島区池袋2-947

⑦出 顧 人 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

個代 理 人 弁理士 須賀 総夫

明細

1. 発明の名称

絵付け成形品の製造方法および製造に した請求項2に記載の金型。 使用する金型 (4) 表面に凹凸模様を形成

2. 特許請求の範囲

- (2) 雄型と雌型とからなる合成樹脂の射出成 形用金型であって、雌型のキャピティ壁の少な くとも一部を多孔質の電鋳品で構成して、ラミ

ネート用化粧シートを予備成形する真空成形用 金型を兼ねた金型。

- (3) 表面を鏡面仕上げしてある電鋳品を使用した請求項2に記載の金型。
- (4) 表面に凹凸模様を形成してある電鋳品を使用した請求項2に記載の金型。

3. 発明の詳細な説明

・【産業上の利用分野】

本発明は、絵付け成形品の製造方法の改良に関 し、それに使用する金型をも包含する。

【従来の技術】

絵付け成形品を製造する技術として、絵柄を有 するラミネート用化粧シートを射出成形金型内に 配置して、合成樹脂の射出成形を行なうことによ り絵柄を合体した成形品を得る方法が広く行なわ れている。 ラミネート用化粧シートには、基材 フィルムに絵柄印刷層を設け射出成形と同時に成 形品と一体化するタイプと、基材フィルムに剥離 層、絵柄印刷層および接着剤層を積層してなるシ ートであって、成形後に基材フィルムを剥離する タイプとがある。

どちらの場合も、成形品の形状が複雑であった り、深い絞りをもっているような場合、ラミネー ト用化粧シートを予備成形しておく必要がある。 予備成形は別に用意した真空成形装置を使用して 行なうのがふつうであるが、射出成形金型の雌型

案した(特願昭63-813号)。

セラミックスは、高い通気性をもたせようとす ると、強度が不足することがある。 一方で、強 に困難がある。

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、上記の技術をさらに展開し、 成形品に所望の意匠を与えてもラミネート用化粧 シートの予備成形のための空気孔があらわれない 絵付け成形品の製造方法と、その方法の実施に使 用する金型を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

本発明の絵付け成形品の製造方法は、第1図に 示すように、雄型2Aと雌型2Bとからなる射出 成形金型2の雌型2Bのキャピティ壁の少なくと も一部を多孔質の電鋳品22で構成するとともに、 この電鋳品からなるキャビティ壁の背後を、排気 孔21を通して真空源(図示してない)に接続し た成形装置を使用し、任意の絵柄を有すラミネー ト用化粧シート1Aを、上記の雌型2Bを利用し

を真空成形金型として利用し予備成形した後、雄 型と雌型の型締めをして予備成形体に対して合成 樹脂の射出成形を行なう方法が試みられている。 この方法によれば、真空成形金型が不要であるし、 予備成形に続いて直ちに射出成形を行なうことが できて能率がよい。

しかし、いずれの方法によるにしても、雌型に は真空吸引のための空気孔を1個ないし(通常は) 数個設けなければならず、絵付け成形品の表面に 空気孔の跡が残ることが避けられない。 この空 気孔の跡がみえることは好ましくなく、絵柄のデ ザインによってはうまく処理できることもあるが、 逆に目立って商品の外観を損ない、商品価値を低 くすることが多い。

電鋳型を用いた注型成形(特開昭61-149 22号)が提案されているが、これは射出成形に 応用できず、加工性のよい製造方法とはいえない。

そこで出願人は、多孔質で通気性のセラミック スをキャビティ壁に使用した金型を試作し、それ を用いた絵付け成形品の製造に成功し、すでに提

て真空成形することにより予備成形して、第2図 に示すようなラミネート用化粧シートの予備成形 休1Bを得た後、この予備成形体を雄型2Aと雌 度の高い多孔質体は、精密な形状に加工すること 型2Bの中に置き、型締めをして上記の予備成形 体1Bに対し合成樹脂の射出成形を行なって、必 要により基材フィルムを剥離し、第3図に示すよ うな絵柄が一体となって成形品3を得ることから なる。

> ここで、「真空成形」の語は、単なる真空吸引 による成形のほか、圧空を併用する真空圧空成形 をも包含する意味をもつ。

> 上記製法で使用する金型は、第1図に示すよう に、雌型2Bキャビティ壁の少なくとも一部を多 孔質の電鋳品で構成してなる。 電鋳技術を利用 した型の製造は、種々の分野で知られており、多 孔質体が得られるような電鋳条件を採用すればよ い。 成形品の表面を平滑にしたい場合は、電鋳 品の表面を鏡面仕上げしておく。 また、成形品 の表面に凹凸を設けたければ、電鋳品の表面に、 それに応じた凹凸模様を形成しておけばよい。

雌型全体を多孔質の電鋳品で作製してもよいことはもちろんであるが、真空成形に伴う空気の流通に関与しない部分は多孔質である必要がないから、排気孔のある部分だけ多孔質にすればよい。また、キャビティを形成する側だけを多孔質とし、衷から金属で支える構造にした方が、強度を確保できて好ましい。

多孔質の電鋳品は、通気度にして3~25m³ /cm・sec 程度のものを用いると、真空ポンプの 負荷が重過ぎなくてよい。

ラミネート用化粧シートの構成は、基材フィルム、剥離層および接着剤層がある場合はその材料、ならびに絵柄の印刷を含め、既知の技術に従えばよい。

【作 用】

の熱盤に当てて予備加熱し、上記の真空成形用金型兼射出成形用金型内に配置して、真空成形による予備成形を行なった。 続いて、この金型内にノズル温度220℃でABS樹脂を射出成形した。 成形品を金型からとり出し、表面に真空孔の跡がない絵付け製品を得た。

【実施例2】

表面を鏡面仕上げした多孔質の電鋳品を用いて 所定のキャビティ形状の真空成形用金型を製作し、 別に用意した鋼製の金型に組み込んで、真空成形 用金型兼射出成形用金型を得た。

厚さ50μmのポリ塩化ビニルのフィルムを基材とし、その上に、グラビアコート法によりポリビニルビチラール樹脂を塗布して、剥離層を形成した。

この剥離層の上に、塩ビー酢ビ共重合体のインキを用いたシルクスクリーン印刷により絵柄の印刷を施し、その上にアクリル樹脂のインキを用いたシルクスクリーン印刷で接着剤層を設けて、転写タイプであるラミネート用化粧シートをつくっ

本発明の絵付け成形品の製造方法においては、 ラミネート用化粧シートを射出成形金型の雌型内 に配置して、真空成形により予備成形する際に、 吸引された空気が雌型の多孔質のキャピティ壁を 通って排出される。

ラミネート用化粧シートの予備成形体の表面に は空気孔の跡がなく、従って、得られる絵付け成 形品の表面にも空気跡が残ることがない。

【実施例1】

多孔質の電鋳品を用いて所定のキャビティ形状の真空成形用金型壁を製作し、別に用意した鋼製の金型に組み込んで、真空成形用金型兼射出成形用金型を得た。 なお、電鋳品の表面には、革シボ模様を形成しておいた。

塩素化ポリエチレンのインキで絵柄を印刷した厚さ200μmのオレフィン系エラストマーのシートに、厚さ3㎜の発泡ポリエチレンシートおよび厚さ100μmのABS樹脂のシートを接着剤で積層して、ラミネート用化粧シートを温度170℃上記のラミネート用化粧シートを温度170℃

た。

上記のラミネート用化粧シートを温度110℃の熱盤に当てて予備加熱し、真空成形用金型兼射出成形用金型内に配置して、真空成形による予備成形を行なった。 続いて、この金型内に、ノズル温度210℃でABS樹脂を射出成形した。 成形品を金型からとり出し、ポリ塩化ビニルのフィルムを剥離して、表面に真空孔の跡がない絵付け製品を得た。

【発明の効果】

本発明の絵付け成形品の製造方法によれば、得られる絵付け成形品の表面に空気孔の跡が残ることがなく、従って、絵柄デザインが制約を受けることなく、美麗な成形品を製造できる。

本発明の金型は、多孔質のキャピティ壁部を電 鋳品でつくることにより、任意の複雑な形状のも のも容易に製作できる。 電鋳品は比較的耐久性 が高く、金型寿命が長い。

4. 図面の簡単な説明

"第1'図は、本発明の絵付け成形品の製造方法に 従ってラミネート用化粧シートを射出成形金型の 雌型内に配置して真空成形を行なっているところ を示す、金型を中心とする筋面図である。

第2図は、ラミネート用化粧シートの予備成形 休を射出成形金型内に配置して射出成形を行なう 直前の状態を示す、第1図と同様な断面図である。

第3図は、本発明の製造方法により得られた絵 付け成形品を示す断面図である。

1A…ラミネート用化粧シート

1B…ラミネート用化粧シートの予備成形体

2 … 射出成形金型

2 A ··· 雄 型 2 B ··· 雌 型

21…排気孔 22…多孔質の電鋳品

3…絵付け成形品

特許出願人 大日本印刷株式会社 代理人 弁理士 須 賀 総 夫



